# $\LaTeX \ Cheat \ Sheet$

### 佐藤 彰

### 2019年4月21日

## 1 数式コマンド早見表

出力結果	TEX	備考
$2^3$	2^3	上付き文字 $2^{100}$ などは $2^{100}$ と書く.
$a_n$	a_n	下付き文字. $a_{n+1}$ などは $\mathbf{a}_{-}\{\mathbf{n+1}\}$ と書く.
f'(x)	f'(x)	微分のプライムはそのまま打つ.
$f_1'(x)$	{f <sub>-</sub> 1}'(x)	下添え字付きの関数は {} で囲う.
$a_n^2$	{a.n}^2	下添え字ごと 2 乗するときは {} で囲う.
$\frac{2}{3}$ $\sqrt{2}$	$frac{2}{3}$	分子・分母の順番を間違えないように.
$\sqrt{2}$	\sqrt{2}	$n$ 乗根 $\sqrt[n]{2}$ は \sqrt[n]{2}
$oldsymbol{x}$	$\backslash bm\{x\}$	\usepackage{bm} を使う必要あり.
$\sin \pi$	\sin \pi	sin cos tan log lim min max は \ をつける必要がある.
$\overline{X}$	$\setminus overline\{X\}$	データ分析の平均値.
$5 \cdot 2$	5 \cdot 2	掛け算
×	\times	掛け算. 通常は使わない.
$a_1 + \cdots + a_n$	a_1 + \cdots + a_n	途中省略.
UN	\cup \cap	和集合・共通部分
$\subset \supset$	\subset \supset	集合の包含関係
$\leq \geq$	\leq \geq	等号付き不等号
<>	< >	等号なしの不等号
x	x	そのまま と打って大丈夫です.
<i>\</i>	\neq	等しくない.
∉	$\n$	\not は色々使えます.
$\Rightarrow$	\Rightarrow	十分条件
$\Leftrightarrow$	\Leftrightarrow	同値
$\rightarrow$	\rightarrow	矢印
$\infty$	\infty	無限大の記号
	\therefore	「ゆえに」の記号
$Z \sim N(0,1)$	Z \sim N(0, 1)	分布に従う意の「~」
$\hat{eta}$	$\hat{\lambda}$	推定量・推定値のハット

# 2 ギリシャ文字一覧

出力結果	T <sub>E</sub> X	備考
$\alpha$	\alpha	
β	\beta	
$\gamma$	\gamma	大文字 $\Gamma$ は \Gamma
δ	\delta	大文字 $\Delta$ は \Delta
$\epsilon$	\epsilon	arepsilon $arepsilon$
ζ	\zeta	
$\eta$	\eta	
$\theta$	ackslashtheta	$\Theta$ は \Theta, $\vartheta$ は \vartheta
$\iota$	\iota	
$oxedsymbol{\kappa}$	\kappa	
λ	\lambda	$\Lambda$ は $\setminus$ Lambda
$\mu$	\mu	
ξ	\xi	
0	0	
$\pi$	\pi	$\Pi$ は $\backslash$ Pi, $\varpi$ は $\backslash$ varpi
ρ	\rho	ϱは∖varrho
σ	\sigma	$\Sigma$ は \Sigma, $\varsigma$ は \varsigma
$\tau$	\tau	
v	\upsilon	Υは \Upsilon
$\phi$	\phi	$\Phi$ は \Phi, $arphi$ は \varphi
χ	\chi	
$\psi$	\psi	ΨはPsi
$\omega$	\omega	$\Omega$ は $\backslash {\tt Omega}$

#### 3 和と積分記号の記法

和の記号

$$\sum_{i=0}^{100} x_i$$

は,以下のように記述します.

1 \[ \sum\_{i=0}^{100} x\_i \]

また, 例えば

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin x \ dx$$

だったり,

$$\iint_D f(x,y) \ dxdy$$

というような積分記号はそれぞれ以下のように記述します.\*1

1 \[ \int\_0^{\frac{\pi}{2}} \sin x \; dx \]

1 \[ \iint\_D f(x, y) \; dxdy \]

#### 参考文献

[1]「IPT<sub>E</sub>X コマンド集」, http://www.latex-cmd.com/, 2019 年 4 月 21 日アクセス.

###

<sup>\*1</sup> ここで dx や dxdy の前に \; とあるのは、dx や dxdy が前の関数に近づきすぎるのを防ぐために \; で小さなスペースを空けているのです.試し に \; 無しで表示してみましょう.